様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和　8 年　6 月 18 日

山口県知事　様

提出者

住　所　山口県山口市阿東徳佐中3193番地

氏　名　池田建設工業株式会社

代表取締役 江藤 正規

電話番号　083-957-0321

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和7年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	池田建設工業株式会社
事業場の所在地	山口県山口市阿東徳佐中3193
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,221 t	全処理委託量	1,221 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	440 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1,221 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

(日本産業規格 A列4番)

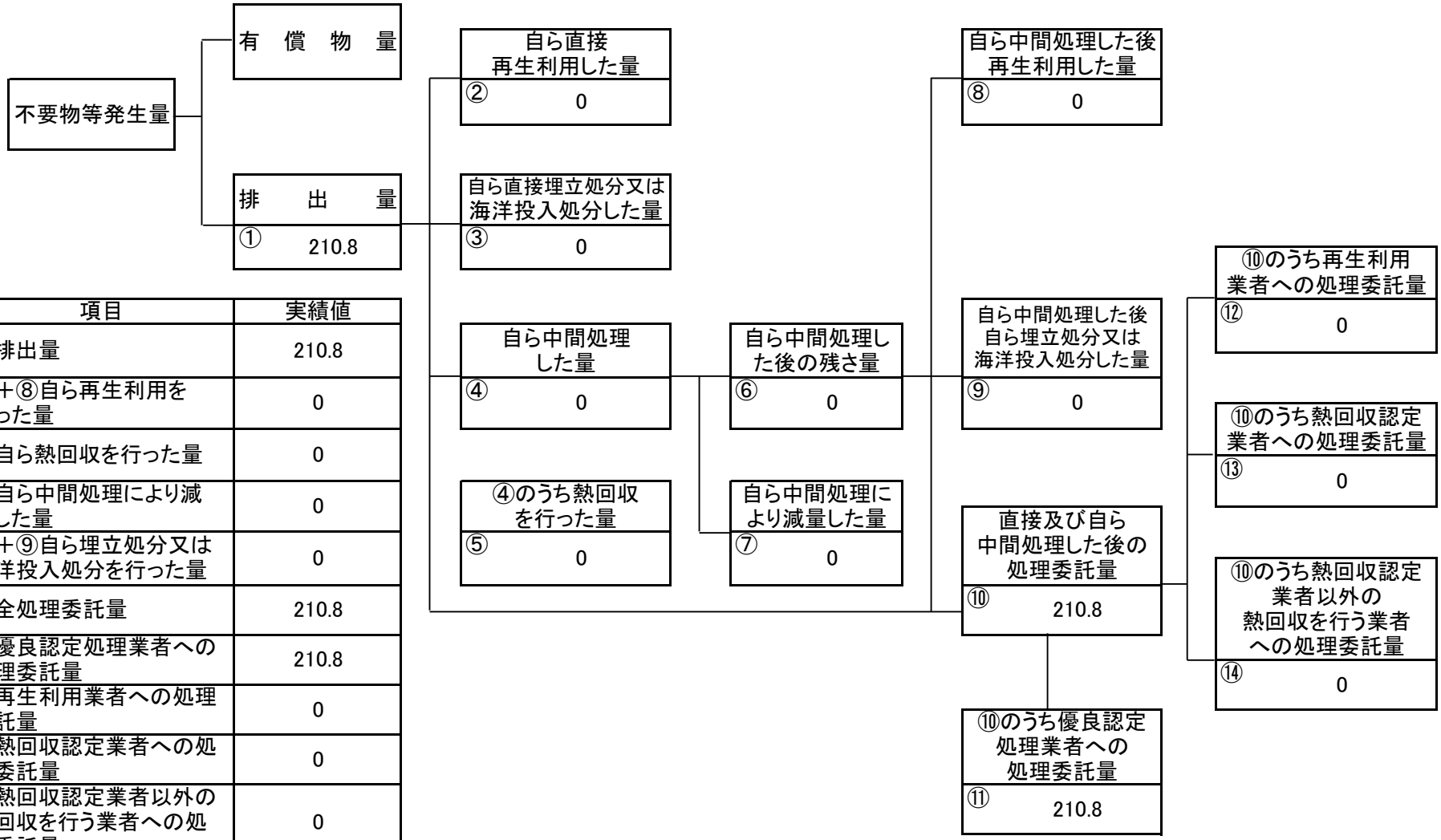
多量排出事業者の産業廃棄物処理計画実施状況報告書（令和7年度実績）

多量排出事業者　名　称	池田建設工業株式会社	所在地（市町名）	山口市	事業の種類	総合工事業

区分	種類	計画の実施状況 ①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤④うち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後、再生利用した量	⑨自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪⑩のうち再生利用業者への処理委託量	処分委託先が山口県内	処分委託先が山口県外	⑫⑩のうち中間処理業者への処理委託量	処分委託先が山口県内	処分委託先が山口県外	⑬⑩のうち最終処分処理業者への処理委託量	処分委託先が山口県内	処分委託先が山口県外	⑭ ⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑮ ⑪⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑯ ⑪⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
産業廃棄物	燃え殻										0	0			0			0					
	汚泥	211									211	0			211	211		0			211		
	廃油										0	0			0			0					
	廃酸										0	0			0			0					
	廃アルカリ										0	0			0			0					
	廃プラスチック類	37									37	37	37		0			0					
	紙くず	2									2	2	2		0			0					
	木くず	375									375	375	375		0			0			47		
	繊維くず										0	0			0			0					
	動植物性残さ										0	0			0			0					
	動物系固形不要物										0	0			0			0					
	ゴムくず										0	0			0			0					
	金属くず										0	0			0			0					
	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	16									16	16	16		0			0					
	鉱さい										0	0			0			0					
	がれき類	336									336	336	336		0			0					
	動物のふん尿										0	0			0			0					
	動物の死体										0	0			0			0					
	ばいじん										0	0			0			0					
	13号廃棄物										0	0			0			0					
	計　(A)	976	0	0	0	0	0	0	0	0	976	766	766	0	211	211	0	0	0	0	258	0	0

区分	種類	実績 ①排出量	②+⑪自ら再生利用を行った量	⑤自ら熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	⑬全処理委託量	⑭優良認定処理業者への処理委託量	⑮再生利用業者への処理委託量	⑯熱回収認定業者への処理委託量	⑰熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
産業廃棄物	燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	汚泥	211	0	0	0	0	211	211	0	0	0
	廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃プラスチック類	37	0	0	0	0	37	0	37	0	0
	紙くず	2	0	0	0	0	2	0	2	0	0
	木くず	375	0	0	0	0	375	47	375	0	0
	繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	16	0	0	0	0	16	0	16	0	0
	鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	がれき類	336	0	0	0	0	336	0	336	0	0
	動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13号廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計　(A)	976	0	0	0	0	976	258	766	0	0

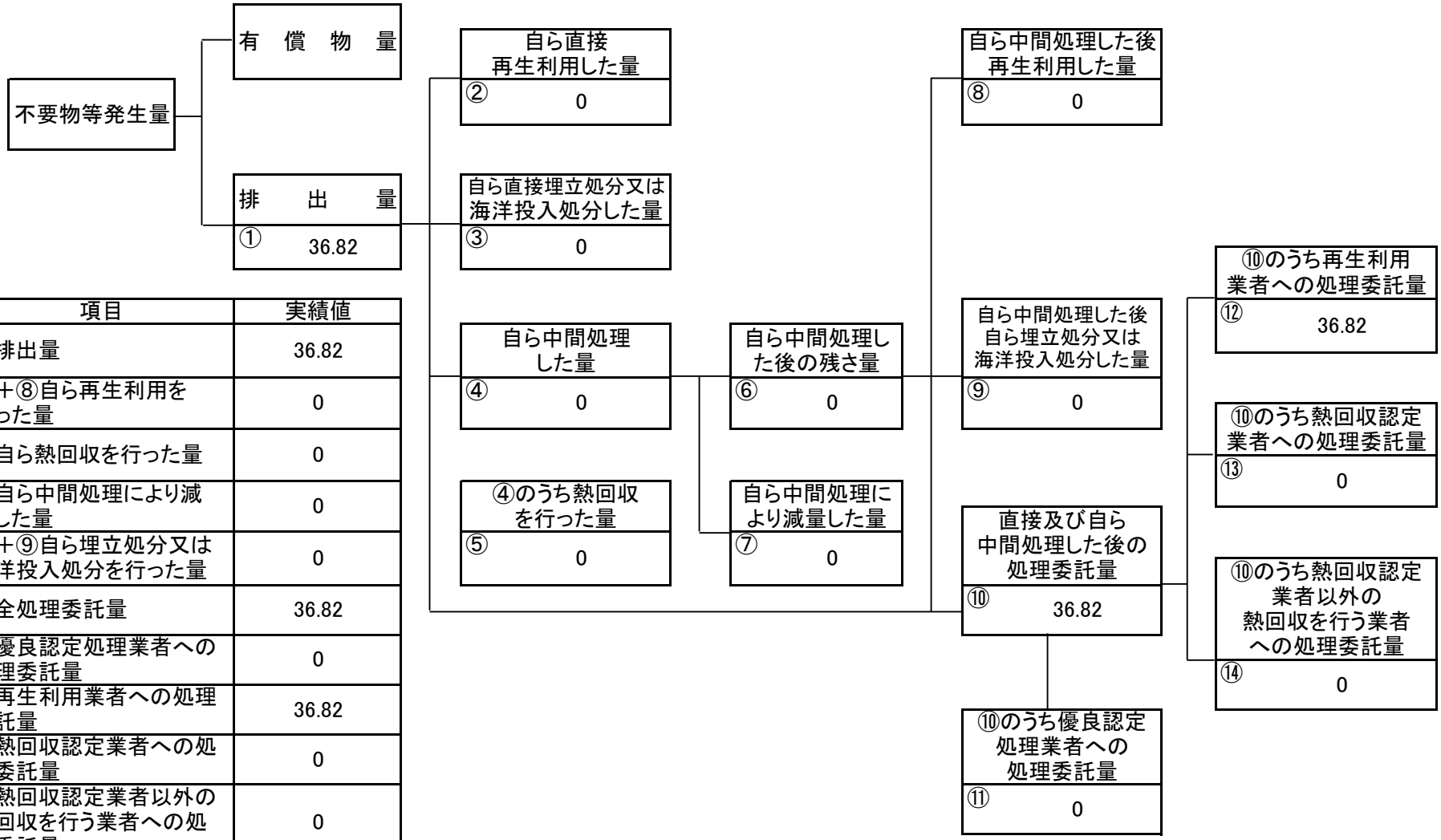
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　汚泥　　）



項目	実績値
①排出量	210.8
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	210.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	210.8
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

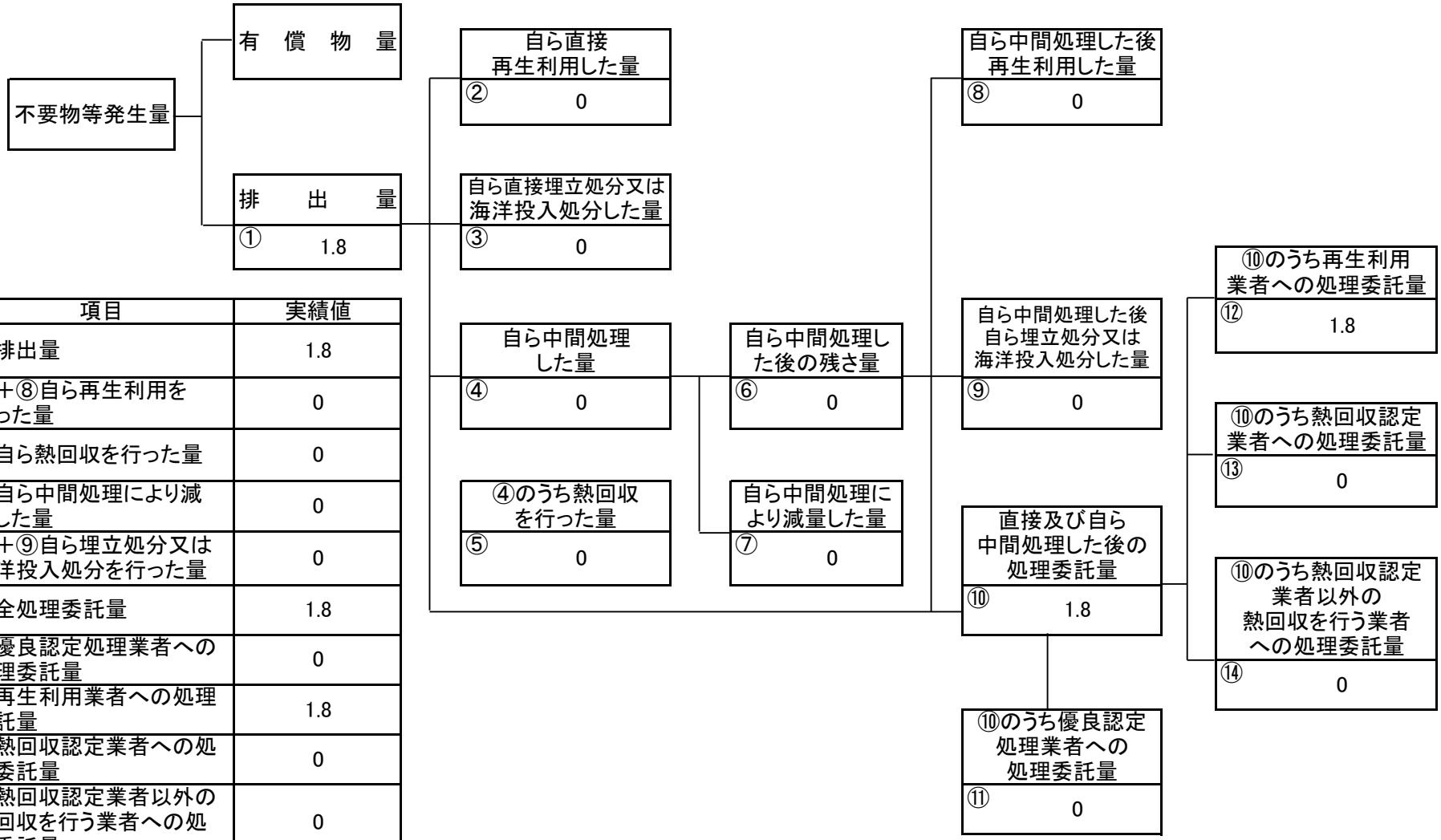
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　廃プラスチック　　）



項目	実績値
①排出量	36.82
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	36.82
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	36.82
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

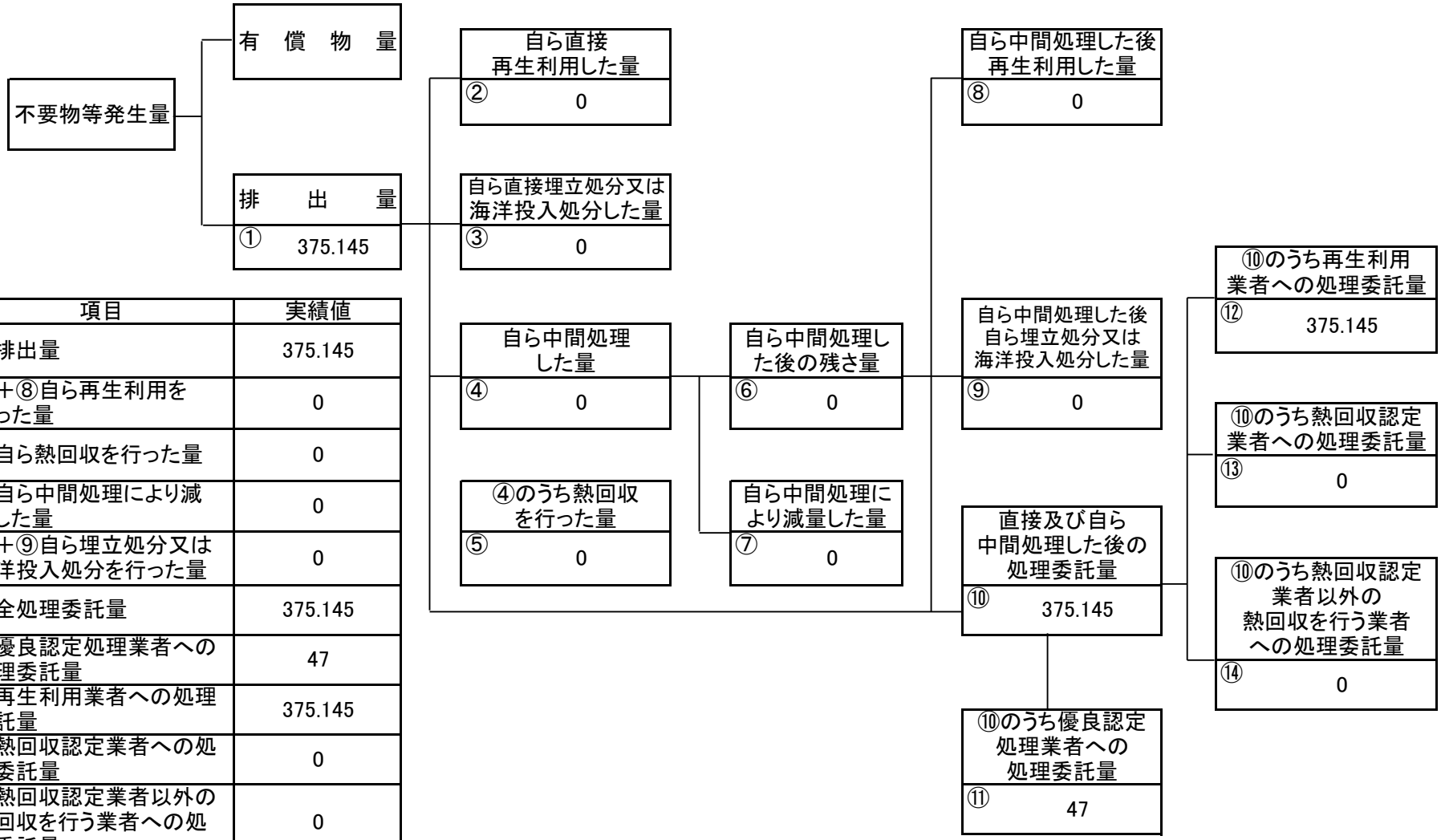
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　紙くず　　）



項目	実績値
①排出量	1.8
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	1.8
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

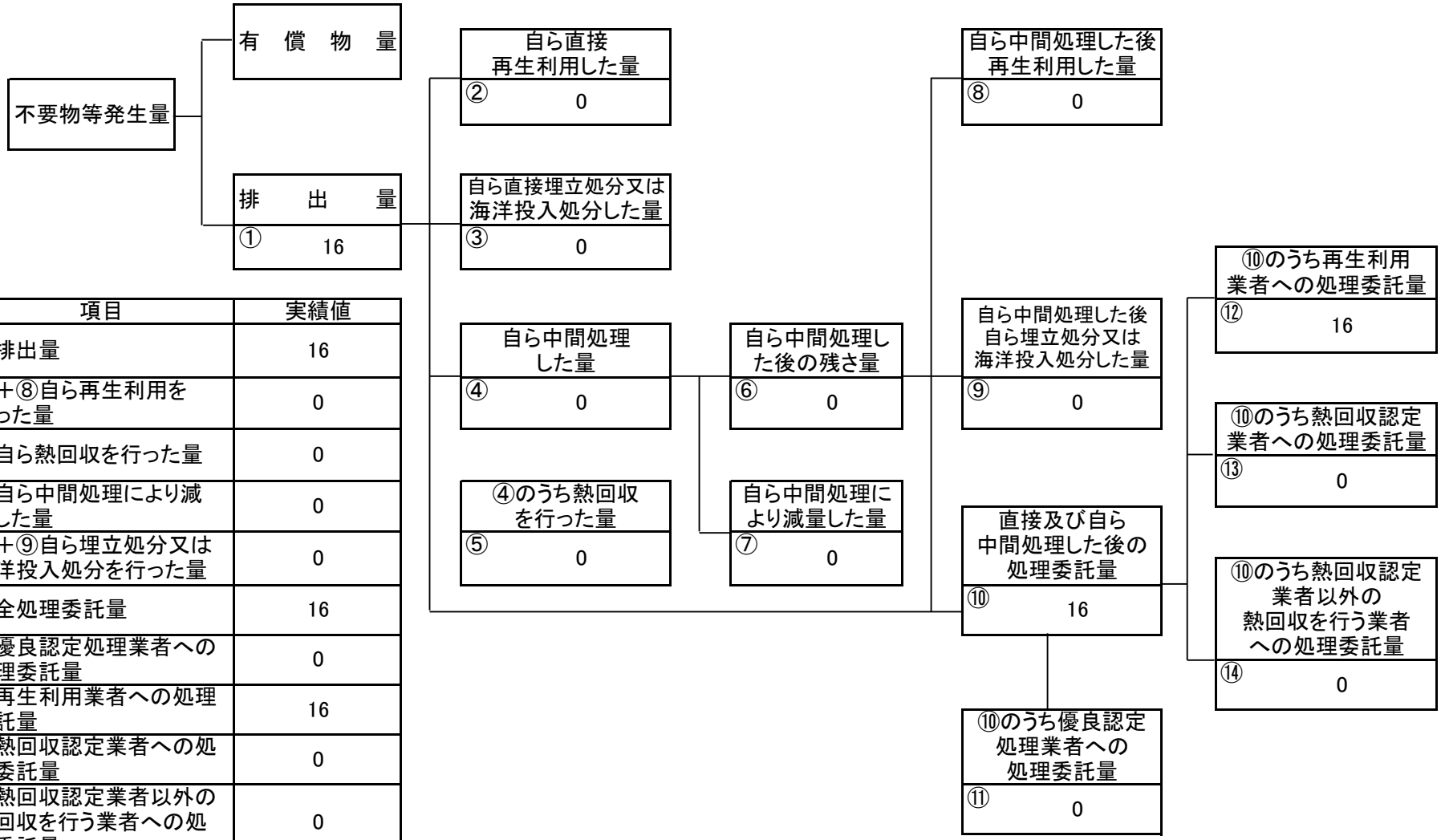
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　木くず　　）



項目	実績値
①排出量	375.145
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	375.145
⑪優良認定処理業者への処理委託量	47
⑫再生利用業者への処理委託量	375.145
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

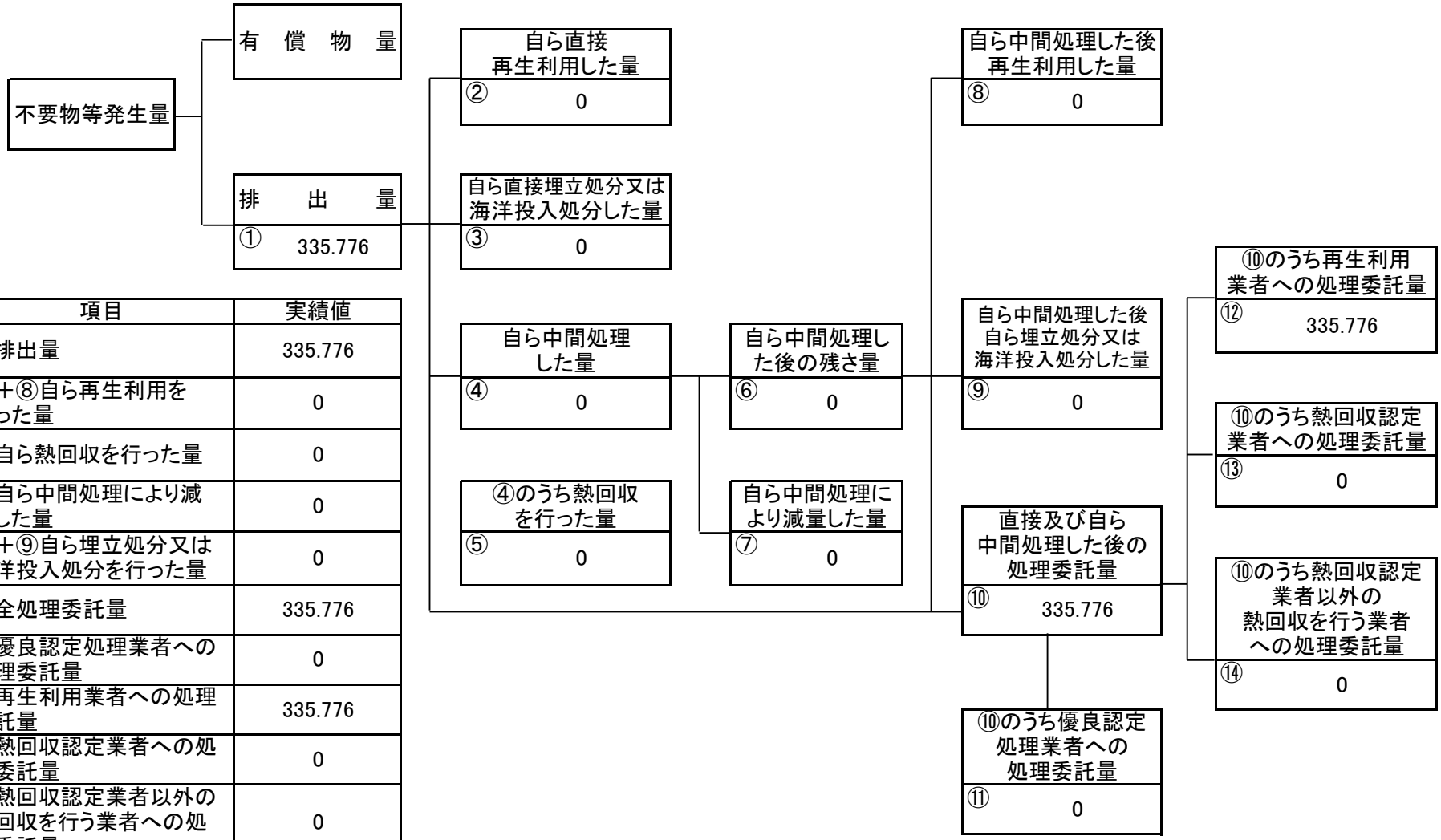
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず　）



項目	実績値
①排出量	16
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	16
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	16
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　がれき類　　）



項目	実績値
①排出量	335.776
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	335.776
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	335.776
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

（第３面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の１１第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。